

令和四年 第二回定例会

追加案件市長説明要旨

南アルプス市

本定例会に追加して提出いたしました案件につきまして、その概要をご説明申し上げます。

追加して提出いたしました案件は、予算案一件であります。

議案第五十八号、「令和四年度南アルプス市一般会計補正予算（第二号）」について、ご説明申し上げます。

補正額を十二億七千四百九十万二千円とし、歳入歳出予算の総額を三百三十億四千百五十八万四千円とするものであります。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、原油価格の高騰や物価上昇により、経済的な負担が増している市民の皆さまの暮らしを迅速かつ力強くサポートするための予算を計上しております。

先ず、「地域経済活性化・生活者支援事業」として、負担が増している皆さまの家計と地域経済を支えるため、市内の店舗等で利用できる商品券「南アルプス元気券」を、一人一

万円分配布する経費に、七億八千四百二十八万八千円を計上しております。

元気券は、今回を含めて三回目の発行となります。コロナ禍において、様々な分野で大きな負担を強いられている市民の皆さまと事業者の方々を、本事業により、切れ目なく支援してまいります。

次に、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業」として、国の補助金を活用し、新たに住民税非課税となった世帯に対し、一世帯あたり十万円を支給する経費に、一億七千八百二十一万七千円を計上するとともに、市単独事業として、一定の要件を満たし、新たに住民税所得割の非課税となった世帯に対し、一世帯あたり十万円を支給する経費に、五千百七十七万三千円を計上しております。

また、「生活困窮世帯緊急生活支援金支給事業」として、山梨県の補助金を活用し、一定の要件を満たしている生活困窮世帯に対し、一世帯あたり一万五千円を支給する経費に、一億一千四百五十四万円を計上しております。

次に、「子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」として、

ひとり親世帯及び住民税非課税世帯に対し、児童一人あたり五万円を支給する経費に、八千七百一万四千円を計上しております。

また、物価高による給食費への影響を勘案し、食材費の高騰分を、市が負担するための経費に、三千五百六万三千円を計上しております。

更に、保護者の負担軽減を図るため、二学期及び三学期における給食費の保護者負担金の三割を、今年度に限り、減額いたします。これにより、子どもたちの給食の質の維持と、子育て世帯への負担軽減を図ってまいります。

最後に、現在、進めております「若草保育所新築整備事業」について、当初予算計上時と比較し、建築資材等が値上がりしていることから、工事請負費を増額するための経費に、二千四百六十万七千円を計上しております。

以上、歳出予算の財源としましては、国・県支出金、繰入金を見込んでおります。

以上、追加して提出いたしました案件につきまして、説明  
を終わります。

何卒、よろしくご審議の上、ご議決いただけますようお願い  
申し上げます。

令和四年六月十四日

南アルプス市長 金丸一元